新たな歴史に向かって　鳳エリア建替え運動の道 ㉗

耳原鳳クリニックの思い出①

私が初めて耳原鳳病院（以下、鳳病院）を訪れたのは、医学部4年生の時でした。当時、日本でも最先端のリハビリテーション病院であり、1週間の実習を行いました。その時の指導医が、現在は八尾クリニックの所長を務めておられる大井通正先生でした。大井先生の人間性あふれる医師の姿に感動し、私は大学卒業後の進路として、耳原総合病院（以下、総合病院）での初期研修を考え始めたのでした。また、鳳病院には呼吸器専門病棟もありました。医学部6年生の時にそこで1週間の実習を行い、患者さんを受け持たせていただきました。多くの先生の温かい指導を受けて、「ここなら大丈夫」と感じ、総合病院に就職を決めました。鳳病院がなければ、今の私は無かったかもしれません。

総合病院での初期研修医時代に「鳳当直」と言う業務がありました。鳳病院で当直業務を行うのですが、医師が研修医の自分一人なので非常に怖かった。夜間救急外来も病棟当直も全て一人でこなさなければなりません。汗をかきかき、看護師の方にいろいろと質問しながら当直業務を行いましたが、様々なことを学び、鍛えられました。また、小さい病院ならではのアットホームな雰囲気がとても心地よかったのを覚えています。

その後は、呼吸器専門病棟が総合病院に移ったこともあり、鳳病院とは縁遠くなってしまいました。義理の父が脳卒中となり、鳳病院でリハビリテーションをして頂いたのですが、その時の訪問は「家族として」であり、医師としては30年近く訪問していなかったと思います。まさか私が理事長となり、同時に耳原鳳クリニックの所長を務めることになるとは、夢にも思っていませんでした。

（耳原鳳クリニック　所長　田端　志郎）

鳳クリニック2階フロア

地域包括ケアステーションとして活動開始

4月に新鳳クリニックでの診療が開始され、6月に、ようやく2階フロア・介護事業所も新事務所での運営開始となり、文字通り、医療と介護の連携を垣根なく行う「地域ケアステーション」としての稼働が始まりました。

全職員で行う朝礼

移転するまでは、他の事業との業務内容の違いから、壁のない部屋では「電話の声が気にならないだろうか？」「隣に先生がいるなんて…」など、緊張と不安でいっぱいでしたが、実際に業務を開始してみると、事業所間の電話は減り、その分、すぐそこにいる関係なので、伝言より直接話をするようになり、今では「気軽に伝達できる」「情報共有がスムーズ」と、顔の見える関係のありがたさを実感しています。

勉強会の様子

ある日「今日、勉強会します」と岩本看護師長より声がかかり、クリニックのスタッフ以外にも、訪問看護、ケアマネジャーなども集まり、一緒に医療の貴重な勉強する機会が持てました。

フロアで相談

また、毎週木曜の朝は全職員朝礼を行い、田端所長より一言と、各事業所持ち回りでの経営状況の報告、そして職員の一言スピーチで自己開示の場となり、より一層、職員間の距離が縮まり、お互いのことを知り、ともに学んでいます。

私たちの強みは、医療と介護の垣根を超え、医療連携を軸として、地域に根差したケアステーションを目指していきたいと思います。

（鳳在宅介護支援センター　吉川　真帆）

耳原総合病院

エントランス作品の作家とワークショップを開催

5月26日、耳原総合病院の新築10周年を記念し、院内のエントランスにある作品《Expectation―希望の芽》の作家・YUKO TAKADA KELLERさんを招いた特別イベントを開催しました。地域の方々や患者さん、職員を含め約20人が参加し、アートを通じてあたたかな時間を過ごしました。

第1部のワークショップでは、紙と糸を使ってペーパーモビールを制作。光や風を受けて揺れる作品は、一人ひとりの感性が自然に現れ、個性豊かな空間が生まれました。併設する住宅型有料老人ホームひまわりの家大仙西の入居者さんも参加し、楽しそうに手を動かされる姿が印象的でした。

楽しくワークショップ
（写真はご本人の承諾を得て掲載しています）

第2部の講演会「デンマークの社会政策～その背景にあるデザイン力～」では、福祉国家・デジタル先進国であるデンマークの、「信頼」を軸とした社会の仕組みが紹介されました。50年以上前から日本におけるマイナンバーのような個人番号での国民情報の管理がされており、それによる便利な暮らしが展開されてきました。

また、税金の使い道が明確で生活への還元が目に見えることから、国民は政治や制度に信頼を寄せ、投票率は80％を超えています。否定から入らず、実現方法を考える文化が、創造的な社会を支えているという話も印象深く、私たちにも多くの示唆を与えてくれる講演となりました。

（主催／耳原アートリンクセンター）

会務報告

6月度理事会（概要）

開催日時：6月20日（金）午後6時～8時12分
出席：理事　25名
監事　3名

〈主な内容〉

◆報告
- 拡大常任理事会、各種委員会概要
- 健康友の会みみはら、社保・平和のとりくみ
- 無料低額診療の各事業所実績報告
- 2025年4月度及び5月度決算概要
- 耳原総合病院「急性期機能整備」方針について
- 同仁会理事・監事・評議員改選に向けた手続きについて

◆承認事項
- 定例評議員会の議案（2024年度事業報告、決算報告ほか）について
- 耳原鳳クリニック事務長の交代について
- 評議員の交代について

6月度定時評議員会〈概要〉

開催日時：6月26日（木）午後5時～6時42分

◆報告
- 評議員の交代について
- 鳳クリニック新オープンについて
- 堺区大仙西エリア有料老人ホームオープン、みみっぱオープンについて
- 耳原総合病院「急性期機能整備」方針について
- 同仁会理事・監事・評議員改選に向けた手続きについて

◆承認事項
- 2024年度事業報告、決算報告及び監事監査報告、利益金処理について承認